

95



大同団結・互助互恵

発行人：早坂 竜太

古工建友会事務局 〒989-6145 宮城県大崎市古川北稲葉3-13-21 古工建友倶楽部内
Tel&Fax 0229-24-3711 http://kenyukai.net E-mail: info@kenyukai.net建友
会報

創立90周年記念式典 華やかに



令和6年10月11日 「創設90周年記念式典」 古川工業高校体育館

母校、宮城県古川工業高等学校は令和6年度、創立90周年を迎えた。令和6年10月11日、同校体育館で記念式典が開催され、在校生や職員、同窓会、PTA、ETA、来賓など約1000人が出席し節目を祝った。

記念式典では、佐々木隆義校長の式辞、藤山修一実行委員長（同窓会会長）のあいさつに続き、母校に功績のあった関係者、団体に感謝状が贈呈された。来賓祝辞、在校生代表による謝辞の後、校歌斉唱にて式典は幕をおろした。

式典後、日本バレーボール協会会長を務める元バレーボール全日本男子代表の川合俊一さんが「トッププレー

ヤーとして必要なこと」と題して記念講演を行った。

川合さんは講演の中で、自分自身の幸運なエピソードを紹介し、普段からポジティブな言動や行動を心掛けることで「運」を呼び込むよう会場に呼びかけた。

古川工高は1934年（昭和9年）、古川商業専修学校として開校。43年に現在地に移り、48年に今の校名となった。現在は建築、土木情報、電気電子、機械、科学技術の全日制5科、機械、電気の定時制2科を持ち、これまでの卒業生は2万1140人。

迎える創立100周年に向け、県北唯一の工業高校として、地域に愛され共に発展する学校を目指す。

建友会報 は古工建友会 HP でチェック！ 発送不要の方はこちらまで→info@kenyukai.net 発送費の節約にご協力ください！

祝！創立90周年

藤井選手が繋いだ記念講演

川合俊一さんによる記念講演の前、壇上には母校OBで2020東京オリンピックバレーボール男子日本代表セッターの故・藤井直伸選手（2023年3月死去）の母、みちえさんの姿があった。

藤井選手が在校時にバレーボール部監督を務めていた佐々木校長とバレーボール協会会長である川合さんとの縁もあり、3者による創立90周年記念「対談」が実現することとなった。

佐々木校長は式辞の際にも藤井選手の人柄にふれ「技術はもちろん謙虚さ、誠実さで仲間へ愛された豊かな人間性は私たちの誇り」と述べ、川合さんも「藤井選手が今の強い日本バレーの基礎を築いた。」と語り、みちえさんは「普通の子だったんですけどね。」と笑顔を見せた。



藤井選手は生前「古川工業で努力することを惜しまない同級生、先輩や後輩と出会い、夢にも考えていなかったオリンピックにまで出場することができた。部活動に限らず、いろいろな面でみんなにチャンスはある。途中で諦めずに卒業後を見据えた努力を重ねて欲しい。」と、話していたという。また、古工創立90周年の記念講演で後輩の前に話すことをとても楽しみにしており、闘病中のモチベーションともなっていたようだ。

今回の川合さんによる記念講演は、藤井選手の後輩を思う気持ちと志を繋いで実現された、まさにトッププレーヤーによる心温まるステージとなった。

感謝状贈呈

「創立90周年記念式典」では母校に功績のあった51個人に感謝状が贈呈された。建友会関係は8名。

- 学校協力者
- 菅原 政隆
- 高橋 光男
- 原 清人
- 佐々木 幸正
- 大河内 五郎
- 小林 恵美子

- 永年勤続職員
- 遊佐 忠行
- 小松 伸幸



感謝♪

この度は、感謝状という身に余る賞を頂戴し誠に恐悦至極に存じます。

古工建友会に勤めさせて頂き30年。皆様方の温かいご指導のおかげと、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

記念式典、懇親会に初めて出席させていただきました。在校生、卒業生の皆様がどれだけ母校を愛していらっしゃるのかひしひしと感じました。懇親会の最後の方で、歴代応援団の方々のエールがご披露されたのですが、すばらしすぎて心が震えました。ふと周りを見ると皆さんの目にも涙が・・・

私は卒業生ではないのですが、会員の皆様と共に様々な場所で、何度古工校歌を歌わせて頂いたことか。♪郷土の誇り我が母校♪と。その度になぜか懐かしく、なんと素敵な方たちに囲まれているのかと改めて自分の幸せも思いました。本当にありがとうございました。

古川工業高校と、古工建友会の益々のご発展を祈っております。
古工建友倶楽部 小林 恵美子

古川工業高等学校創立90周年記念式典では学校協力者として感謝状をいただきました。

思い起こせば1965年4月建築科に入学。1968年3月卒業後、横浜のゼネコンに就職、40年間勤務した会社では50代より施工部門から工務、購買部門に配置替えとなり40歳半ばから始めた陶芸を趣味として活動していました。

大型工事の際に伊奈製陶の外壁タイル品質検査で工場に伺い、検査後の工場見学で作陶させていただいたのが陶芸に没頭するきっかけでした。横浜陶芸友の会に入会し毎年行われる作品展での展示。その際には会員皆が評価及び作陶技法等を惜しみなく発表してくれる恵まれた環境

下で続けてきました。陶芸仲間数人と年に1~2回の頻度で貸し窯を利用し薪窯焼成を行い、10日間冷却期間後、窯出し。窯出しは大変な作業で、ほかの人たちに手伝ってもらうためにツアーを計画。このツアーには在京ふるさと会の方たちにお手伝いをいただき、作品の一部をお土産でお持帰りをしていただいたりしていました。

このように何を行うにも相互互恵で皆様方の協力を頂けることに感謝する次第です。
高橋 光男 (20回)



90周年記念誌
表紙 千葉 琥珀 (建築科3年)

中鉢紀男先生を偲んで



令和6年9月25日建築科の恩師、中鉢紀男先生(14回)が永眠されました。享年81歳。中鉢先生は大学卒業後、古川工高講師、福島原町、白石工高を経て母校建築科に勤務。平成15年3月退職。

ご永眠のお知らせをいただき驚愕しております。時効ですでお話しますが、修学旅行の時に先生方の部屋で「就職して現場に出ると職人さんとのコミュニケーションが大切だ！」と言って乾杯したことを懐かしく思い出します。

就職難時代の35回生担任として大変苦労が多かったと思います(それ以外でも…)

在りし日の面影を偲びつつ謹んでご冥福をお祈り致します。 関 信哉 (35回)

突然の訃報を聞き大変驚きました。在校中はいつも迷惑をかけていた35回生でしたが、先生は常に気遣って下さいましたね。この時期になるとブレザーの下にシャツとネクタイ、そしてベストを着込み、常におしゃれで紳士的でした。その半面、私たちがリラックスさせようと駄洒落を言うのですが、なかなかみんなに受けずいましたね。私的にはとても面白かったです。先生から教わった平方根公式の覚え方、『わっさわ、へいほう〜さ♪』今でも忘れていません。ありがとうございました。心から感謝いたします。 三浦 浩 (35回)

中鉢先生は当時、数学を担当しておりましたが残念ながら授業内容は記憶にありません。しかし、朝夕のちょっとした時間や、授業の合間に私達に話かけてくれていたことは心にきちんと残っています。とにかく、我々側にたった話をしてくれる先生でした。

我々の在学中は、生徒がトンガっていた時代で、「悪ふざけ」があまりにも多かったのを記憶しています。そんな時も一時的には叱りますが、叱っているうちに、我々の話しに同調して、結果的に味方側にたって終わる先生でした。あの当時、金八先生が放送されていましたが、まさに、そのような先生でした。

高校卒業後、私は消防士の道を歩みましたが、先生のご自宅の近くで、偶然にもお会いすることができました。先生は、私のことを覚えていないだろうか?とっておりましたが、「あなたの成績は1等賞になったり、ブービー賞になったり、私が担任をしていた中で、初めての出来事だった。」とおっしゃって、あの当時のことで盛り上がったことを今でも思い出します。先生と高校時代の思い出話しができなくなるのかと思うと、非常に淋しく思います。心から中鉢先生のご冥福をお祈り申し上げます。 中橋 正宏 (35回)

2年間クラス担任として大変お世話になりました。学習面での支援はもちろんのことですが、生徒間でトラブルがあった際には夜間にも関わらず相手方の家まで同行していただき、問題解決まで導いてくださったこともありました。そうした先生の姿は岩に留まる苔のように、どんな状況でも沈着冷静さを保ちながら前に進む強さを感じさせるものでした。そして男子校特有の荒々しさも感じる学校生活を時に和らげていただける安心感がありました。「華やかさとは違う表面化しない実直な美しさ」という感覚を教えてくださいました。私が働く支援学校でもそうした先生の仕事に対する考え方、振る舞い方を常に忘れず指導に活かしているつもりです。紀男先生のことはいつまでも忘れません。ありがとうございました。 平田 洋章 (43回)

新大崎青年部長誕生!

新しく建友会大崎青年部長となりました65回生の臼井怜史(うすいさとし)です。

地元古川の建設会社、仙北建設で現場監督として働いています。

大崎青年部でも少子高齢化が進んでおり、自分が最年少なので、若手が欲しいととても悩んでいます(笑)

先輩方は気前の良いオッチャンや優しいオババ・・・お姉さま方なので、親戚の家に遊びに行く感覚で参加できるような青年部を作りたいです。



建友会報に関するお知らせ

建友会報は昭和47年の会創設以来、年2回の発行を続け、今号で第95号を数えます。

年会費を継続納入頂いている会員の方には、郵送にてお届けしておりましたが、昨年の郵便料金値上げに伴い発送の見直しを検討しているところです。

建友会報は毎号、建友会HPからもご覧いただけます。紙での郵送が不要な方は建友倶楽部までメール、またはHPトップ情報提供フォームよりお知らせください。お知らせのない方には今まで通り郵送にてお届けいたします。

会の継続運営のため皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

建友倶楽部メール info@kenyukai.net
建友会HP kenyukai.net

建築科ニュース

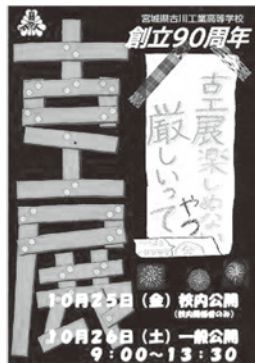
■インターンシップ・体験報告会開催 (10/7~)

今年度で20回目となるインターンシップは10月7日より、2年生32名が各事業所で就業体験を行った。また11月19日には、担当者を招いた報告会も行った。受入れは15事業所。—敬称略—
 大崎市役所 株式会社アルプスビジネスクリエーション 株式会社古川土地 株式会社三塚内装 新日本商事株式会社 株式会社藤山工務店 株式会社村田工務所 株式会社檜工務店 佐信木材株式会社 株式会社木材スーパーエントー 株式会社タカカソホームズ 積水ハウス株式会社東日本プロダクトセンター東北工場 大和ハウス工業株式会社東北工場 ポラス株式会社 YKK AP株式会社



■古工展 10/25(金)校内発表・26(土)一般公開

創立90周年を記念した古工展を2日間実施した。一般公開には1,342名の来場者があった。
 また、今回のポスターは建築1年 布塚瑛稀の作品が選ばれた。



■リサイクル施設見学会・林業体験会

12/6 (3年生) リサイクル施設見学会(エコランドキムラ)
 (1年生) 津山林業体験会

循環型社会に貢献できる産業人材育成事業の一環として見学会・体験会を実施した。3年生は見学を通して、環境への配慮や廃棄物の減量化・再資源化への取り組みについて学びを深めることができたと感じを語っていた。

1年生は夏の植林、下草刈り体験に続いて2回目の間伐・伐採現場を見学した。森林を管理する事の大切さや自然の偉大さを実感することのできる充実した実習であった。



■「ジュニアマイスター顕彰で100P超え！」

建築3年 五十嵐 義友



全国工業校長協会が実施しているジュニアマイスター顕彰において建築3年五十嵐義友(いがらし あきとも)が100ポイントを超えた。資格取得やコンテスト入賞などで、ポイントが付く制度。在学中に取得した主な資格は以下の通り。()内は与えられるポイント数。

2級建築施工管理技術検定(20) 2級土木施工管理技術検定(20)

計算技術検定1級(20) 3級建築大工/大工事作業(12)

高等学校工業基礎学カテスト95点以上(12)

パソコン利用技術検定2級(4) トレース技能検定2級(4)

建築CAD検定3級(4) レタリング技能検定3級(4)

建設業経理事務士3級(4) 色彩検定3級(2)

■令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

「第1位」 建築3年 千葉 琥珀
 —講評—

スレートに表現されたキャッチコピー「18歳選挙に行こう」や、後ろを振り返りながら、手を引く少女の笑顔からは、国民の権利である選挙の大切さと若者の政治参画への意識の向上を図ろうとする作者の思いを強く感じさせる作品である。



■高校生ものづくりコンテスト木材加工部門 宮城県大会

「第2位」 建築1年 秋山 躍斗



■母校・建築科の最新情報は学校ウェブサイトへ

最新の情報は「古川工業高校」で検索か、右のQRコードからアクセスしてください。



信頼と実績で、地域発展のために・・・

祝！60周年 株式会社仙北建設

株式会社仙北建設はおかげさまで60周年を迎えました。

昭和39年11月古川市中里（現大崎市）に創業者である高橋孝（現会長）が父兵輔の勧めで仙北建設を立ち上げました。木造建築からスタートし、建築業界のニーズに対応しながら鉄骨造、RC造、土木事業にも参画しております。

当社の創業者は古川工業建築科を卒業し、古工建友会創設時（昭和47年）より平成22年までの38年間にわたり監事を努めておりました。

そして、古川工高建築科や土木科（現土木情報科）を卒業した多くの社員の支えがあって、本年60周年を迎えることができました。

また、古工建友倶楽部館長の宮澤忠一さんには長年にわたり当社の建築部長として、社業発展にご尽力いただきました。感謝申し上げます。

60年の間には、宮城県沖地震、吉田川決壊、東日本大震災など沢山の自然災害に見舞われ、各地で甚大な被害がありました。わたしたち建設業の使命は災害時における復旧、復興作業にいち早く取り掛かることが最優先だと考えております。

特に東日本大震災の際には本社事務所も大きな被害を受けましたが地域の皆さまより「早く直して欲しい」



令和6年11月16日 創業60周年記念式典開催！

との要望が多く寄せられ、何よりもお客様の安全第一を優先し対応させていただきました。工事が終わり、お引渡しの際に「仙北建設に頼んでよかった。ありがとう。」の言葉が一番の励みとなっております。

創業当時の社是であります「地域の皆さまに愛される企業を目指して」を信条とし、70年、80年、そして100年とこれからも地域の発展に寄与できるよう日々技術を磨いてまいります。

それでもやっぱり

リレー寄稿

みんな古工生だった

「濃厚マシマシの青春時代」

加藤 良一 (31回)

ミーンミンミンミー今日も朝早くからセミの鳴き声が聞こえてくる。この鳴き声を聞くと、あの応援練習の風景を思い出す。「オイ！オマエ！声が小さい！」と愛情棒で小突かれ「セミをやれ」と近くにあった松の木によじ登り、コアラのように抱きかかえながら大声で何度もセミをやらされる。これが古工応援練習の伝統芸であった。ある意味、人前で何かをやることに度胸が付いた気がします。

当時、授業で美術と音楽の選択があり、私は美術を選択していました。美術担当S先生はとても気さくで生徒の話をよく聞いてくださいました。時々、授業中にも関わらず丸い缶に入っている短めの何かを外に出て吸っていた気がします（マボロシだったのかも）。

そのS先生から「加藤、古工展のポスターを描け。君の考えで。任せるから。」と命じられ、従った私の描いた古工展の



1978年

ポスターを印刷に出す事となり、引率のH先生、S生徒会長と3人で仙台の印刷所に出かけることとなりました。

紙の種類や色、枚数などを打ち合わせ、予定より大分早く終わったのでH先生が「せっかく仙台に来たのだから映画でも観るか」と提案してください「皇帝のいない八月」を鑑賞しました。その後、食堂に引率されH先生は一升瓶に入った大人の飲み物を、私たちはクリームソーダを注文しました。H先生はとても美味しそうに飲まれていて、つい「チョットだけいただけませんか？」と何うと「チョットだけヨ」と少しだけ味見をさせてくれました。その時はとても美味しく感じ、大人の仲間入りをした気分になりました。引率のH先生、美術担当のS先生、あの時は本当にありがとうございました。

今の時代には考えられないとても不適切な事柄が多かった気がします。私にとって本当に濃密なコイ、コイ、3年間の学校生活でした。支えてくださった先生方のありがたさを今も身に染みて感じております。本当にありがとうございました。

大崎市立おおさき日本語学校学生寮整備事業

おおさき日本語学校学生寮 第1期整備棟

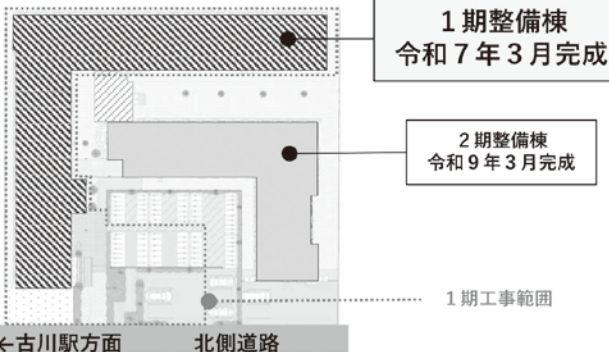
令和7年3月完成予定



1期・2期棟完成イメージ

■事業者：早坂竜太（古工建友会 会長） ■外構工事：株式会社 古川土地 ■設計/建物工事：積水ハウス 株式会社

【全体配置図（1期・2期完成時）】



1期整備棟
令和7年3月完成

2期整備棟
令和9年3月完成

1期工事範囲

←古川駅方面 北側道路



外構イメージ



外構イメージ



キッチンイメージ



リビングイメージ

積水ハウスの公共事業実績

まちづくり、福祉施設、学校施設をはじめ
不動産による社会課題の解決策をご提案します。



東北エリアの整備実績

- 宮城県**
 - ・おおさき日本語学校学生寮
 - ・色麻町地域活性化住宅
 - ・宮城教育大学学生寮
- 青森県**
 - ・むつ市田名部まちなか団地（市営住宅）
- 岩手県**
 - ・西和賀町移住定住促進住宅
- 山形県**
 - ・庄内町子育て応援住宅
 - ・戸沢村子育て応援住宅
 - ・山形大学学生寮

- 福島県**
 - ・国見町定住促進住宅
 - ・浪江町再生賃貸住宅
 - ・只見町地域活性化住宅
 - ・大熊町交流ゾーン

- 秋田県**
 - ・大湯村定住促進住宅
 - ・大湯村営住宅
 - ・藤里町定住促進住宅
 - ・井川町定住促進住宅
 - ・小坂町定住促進住宅
 - ・東成瀬村移住定住促進住宅

昭和47年創業…

「不動産」と「建設」

株式会社 古川土地

FURUKAWA-TOCHI 代表取締役 早坂 竜太

- 本社 / 大崎市古川駅前大通2丁目6番16号
TEL.0229-23-8484
- 建設事業部 / 大崎市古川鶴ヶ埜字新江北125番地1
TEL.0229-23-1192

ホームページ: <https://yoitochi.com> Eメール: honsha@yoitochi.com

積水ハウス株式会社

SEKISUI HOUSE

東北シャームゾン支店 支店長 櫻井直樹

仙台市青葉区本町2丁目16番10号（メットライフ仙台北町ビル1F）
TEL.022-222-0025
FAX.022-211-0418
9:30~17:30 / 定休日：土曜日・日曜日・祝祭日

ホームページ: <https://www.sekisuihouse.com/liaison/region/lia01/miyagi/shm/>

Information

大同団結・互助互恵

北から南から～事務局把握分

(令和6年7月以降判明分)

※個人情報保護のため、個人の住居を簡略表示とし、電話番号も掲載いたしません。

☆

賛助会員

◆丸か建設(株)様

<社長交代>

代表取締役社長に佐々木一暢氏就任。浩章氏は代表取締役会長に就任。

旧1 ～ 76回 <敬称略>

◆2304青木 勇悦 (株)MKテクノス

◆2730佐藤 俊彦 (株)大林組定年退職

◆3007内海 正

住友不動産建物サービス(株)定年退職

◆3109加藤 良一

(株)赤石建設専務取締役 統括部長

◆3428高野 広明

丸か建設(株)常務取締役建築部長

古工建友会事業記録

(令和6年8月～)

■第48回石巻支部総会・古工同窓会

石巻支部総会 [8月9日 於:小松・出席13名]

今年度より、石川先輩から門間支部長へ引継ぎされ、各役員新体制のもと動き出した次第です。新支部長と共に先輩方を見習い、盛り上げていきたいと思っております。会員皆様には今後共、ご協力の程よろしくお願い致します。(幹事長 藤田 哲・46回)

■建築科3年生古工建友会倶楽部訪問 [8月29日・43名]

3年生全員(37名)が、倶楽部を初訪問する恒例の行事が21回目となった。早坂会長、宮澤館長が、『親が子を慈しみ育てるようなそんな思いで、建友会の先輩方は君たちを見守り、いつも応援しています』とエールをおくった。

■第30回栗原支部総会

[8月30日 於:時代屋らしく・出席9名]

総会では、事業及び決算報告について、満場一致で御承認いただきました。懇親会においては、笑いが絶えない貴重な話を聴くことが出来ました。健康に留意して、またお会いしましょう。(幹事長 小関 勝巳・41回)

■第39回大崎支部総会

「大崎のつどい」「青年部のつどい」

[8月31日 於:アインパルラ浦島・出席29名]

総会では、本部事業活動、母校の近況などを報告いただきました。青年部活動報告では部長交代の発表があり、高橋俊大君(58回)から白井玲史君(65回)へ新たにバトンを渡されました。懇親会の締めには校歌斉唱し盛会裡に終了しました。(幹事長 小林 弦・41回)

■就職模擬面接 [9月4・5・6日・於:古川工業高校・3年生15名・面接官延13名]

<面接官>堀切厚周(丸か建設)、猪股昭一(三塚内装・29回)、木村哲夫(木村建築設計・29回)、門脇二郎(太子堂造園・37回)、鎌田孝志(鎌田板金工業・39回)、佐藤優(サトー商会・42回)、三塚猛(三塚内装・42回)、遠藤ゆり(en architects・45回)、小坂井康弘(伊藤鐵工・45回)、遠藤秀春(木材スーパーエンドー・47回)、佐藤敬太(富士電工・48回)

模擬面接官として、延べ13名の会員皆様にご協力を頂きました。本当にありがとうございます。今年は建友倶楽部ではなく母校を会場としての開催となり、今までとは違った模擬面接となりました。生徒の皆さんは緊張の中でしたが、しっかり受け答えなども出来ており嬉しく思いました。緊張は必ずするもの!深呼吸も忘れずに。一番は元気!笑顔で、自分らしさを出し面接を頑張ってください。

(事業部長 小坂井 康弘・45回)

■第46回仙台支部総会「伊達な集い～絆2024～」[10月18日 於:パレスへいあん・出席18名]

■第20回仙台支部ゴルフコンペ

[於:杜の都ゴルフ倶楽部・参加6名]

新卒76回生の参加もあり、会場では若々しいテーブルに名刺を持った重鎮の皆さんが群がる…何とも微笑ましい光景が広がっていました。中でも一番お元気なのが10回生の柴田先輩!ゴルフコンペでは見事優勝!「来年はゴルフで柴田先輩を打ち負かす!」と血気盛んな後輩の挑戦を、にこやかに受け止めていらっしゃいました。(幹事長 遠藤ゆり・45回)

■第38回古工建友会関東支部総会「関東支部の集い」・第29回古工関東同窓会総会

[令和6年10月26日 於:オーラム・出席20名]

前回同様に古工関東同窓会の総会との同時開催となり大変盛り上がる会となりました。

総会では、来賓早坂会長から、故郷の情報や各本支部の活動内容をお聞きし、諸先輩方も興味深く聞き入っておりました。懇親会では薩南工業高校支部会長の阿久根様より、同様な会を催しており、実情や継続するための施策など、大変参考になるお話も頂きました。次回総会での再会を誓い合い無事閉幕致しました。(関東副支部長 早坂 徹・39回)

■第23回三役会

[令和6年11月7日 於:古工建友倶楽部・6名]

・運営委員会、本部役員会、総会の日程について

■第73回運営委員会

[令和6年11月26日 於:古工建友倶楽部・出席15名]

・三部会事業報告・本部役員会、総会の日程について

■建築科・建友倶楽部交流会

[令和6年11月26日(火)於:古工建友倶楽部・出席19名]

模擬面接やインターンシップ、またスポーツ交流といった懇親事業等、在校生と先生方、会員の連携がカナメとなります。互いの要望など意見が交わされた。

同級会便り

◆34回生還暦記念同級懇親会

[R6.7.27 於:亜門(仙台)・参加18名]

昨年還暦を迎え、気持ち新たにお互いに元気に頑張ろうと十数年ぶりに開催。4名の物故者に黙祷後、今回参加予定だった当時



の級長が1週間前に急逝との報に、お酒が大好きだった彼の席はそのままに献杯で開宴となった。参加者は級長を含め18名。皆さんの近況報告と高校時代の思い出話に盛り上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎ、またの再会を誓った一夜でした。(参加者:Y.O)

◆25回生同級会

[R6.7.28 於:ららん(古川)・参加12名]

今年の春あたりに、SNSで一部の同志に話をしてみると「そういえば今年には古希だねえ。還暦から10年が過ぎ、櫛の歯が欠けるようにポツポツと抜けるようになって、やっとならなも一段落したことだし集まろうか?」と話がまとまり、建友会名簿を活用し住所が判明している20人近くにはがきを出して、12名が集まった。三重県や横浜から駆け付けてきたものも…。今後は毎年決まった日程に再会することを誓って、会場を後にした。(幹事 板垣 力)



◆9回生「米寿を祝う会」
[R6.10.7 於:ホテルクレセント(秋保)・出席6名]
高校時代の思い出や近況をお互いに話し合い、校歌を歌い楽しい時間を過ごす事が出来ました。次回同級会を計画することを約束し散会しました。
(実行委員 鹿野・軽部・佐藤)



◆23回生同級会

[R6.11.13 於:大観荘(松島)・参加21名]

還暦祝い以来の12年振りの同級会でした。41名卒業し、そのうち11名が亡くなり、今回21名の参加でした。遠くは九州大分や、静岡・新潟からの参加もあり懐かしさ100%の会になりました。亡き友11名への黙祷を皮切りに、盛大に賑やかに会は進み、二次会へ。

今回幹事でなかった者の一人が、2年後またやるぞって氣勢を上げてたのが耳に残りました。(幹事 藤原 成一)



古工建友会 「本部役員会」と「総会」のご案内

古工建友会会長 早坂 竜太

下記の内容で「総会」を開催致しますのでご案内を申し上げます。尚、一般会員の皆様は総会への参加となります。

日時：令和7年4月26日(土)
15時～「本部役員会」
同上
16時～「総会」

場所：古工建友倶楽部
Tel 0229-24-3711
大崎市古川北稲葉3-13-21

※会場準備の関係上、出席される方は建友倶楽部までご連絡ください。

謹弔 <令和6年7月以降判明>

- 恩師 赤坂 英昭先生 (令和6年10月28日死去)
S38年～59年まで古工在任。
建築科25回生、37回生の担任。
バレーボール部の監督として、18回もの全国大会出場に導いた。
 - 恩師 中鉢 紀男先生 (14回生) (令和6年9月25日死去)
 - 賛助会員
大崎エコクリエーション(株)
代表取締役 松橋 博基さん (令和6年8月31日死去)
 - 0321佐々木 守さん(令和6年5月16日死去)
 - 0901伊藤 克孝さん(死去年月日不詳)
 - 0907尾花 博さん(令和4年11月死去)
 - 0926佐藤 時弘さん(令和元年7月死去)
 - 0943日野 勇さん(令和元年死去)
 - 0947森 次男さん(令和6年9月死去)
 - 1247我妻 伸さん(令和6年10月23日)
 - 1830高橋 桂蔵さん(令和6年10月24日死去)
 - 2310岡崎 一也さん(令和5年2月死去)
 - 3426鈴木 幸治さん(令和6年7月20日死去)
- 謹んでご冥福をお祈りいたします。

運営維持カンパご協力者

皆様の熱い思いに感謝致します!

【R6. 7. 1～12. 31】 敬称略

23回生同級会	32,000	円
匿名	1,000	円
912 鹿野 功	3,000	円
1021 柴田 重男	9,000	円
1038 千葉 三男	1,000	円
1125 関 力男	3,000	円
1219 佐野 英雄	3,000	円
1233 高橋 昂	3,000	円
1305 五十嵐直喜	2,000	円
1308 岩崎 功	2,000	円
1334 田口 浩	2,000	円
1335 内岡 鉄男	2,000	円
1416 熊居 鉄雄	3,000	円
1801 青砥 德行	3,000	円
1828 高島 強	3,000	円
1844 吉田直三郎	10,000	円
1915 金野 裕一	2,000	円
2042 本郷 敏昭	2,000	円
2224 渋谷 宗男	3,000	円
2233 千葉 洋一	1,000	円
2304 青木 勇悦	2,000	円
2318 佐々木和孝	3,000	円
2324 白石 崇	5,000	円
2334 藤原 成一	3,000	円
2514 黒木 一吉	2,000	円
2541 相垣 力	3,000	円
2601 相澤 洋一	3,000	円
2613 小出順一郎	3,000	円
2818 佐々木清幸	3,000	円
2916 木村 哲夫	1,000	円
2935 星 則明	1,000	円
3007 内海 正	5,000	円
3037 伏見 正行	2,000	円
3329 高橋 広幸	3,000	円
3337 亀山 金男	3,000	円
3630 細川 幸志	3,000	円
3811 熊谷 健治	10,000	円
3828 飯田 忠	3,000	円
4219 佐藤 昌運	2,000	円
4424 菅原 政博	10,000	円
4438 藤原 宏樹	2,000	円
4608 喜藤 純也	2,000	円
4619 菅原 謙一	1,000	円
4628 土井 毅	1,000	円
5104 及川 綾	1,000	円
5505 伊辺 佑成	2,000	円
6213 日下 健	3,000	円
7119 斎藤 多恵	2,000	円
48名	174,000	円

結婚おめでとう

<令和6年7月以降判明>

- ☆6511 吉田 理紗さん(旧姓近江)
- ☆6708 近江 志穂さん

*披露宴には本部から祝詞をお送りします。事前に連絡下さい。

令和6・令和7年度

年度会費 各2,000円

お近くの郵便局より同封の振込み用紙にて記載分をご送金下さい。

★銀行からも振込めます!

【振込先口座番号】

七十七銀行南古川支店
普通5233852

古川工業高等学校建友会会長
早坂 竜太

70才以上の会員の皆さまへ

平成26年度より、70才以上の先輩会員の皆様は年会費 2,000円 が免除となっております。

令和7年度から該当するのは
26 回生の皆様です。

同封の振込用紙には会費納入金額の記載はございませんが、可能な範囲で「維持カンパ」へのご協力をお願いしております。これまで同様、後輩たちの奮闘と建友会の運営を温かく見守りくださいますようお願い申し上げます。

【古工建友会報 第95号】

令和7年(2025)年2月1日発行

発行人:早坂 竜太(37回)
運営委員長:猪股 昭一(29回)

〒989-6145
宮城県大崎市古川北稲葉3-13-21
古工建友倶楽部内
Tel&Fax 0229-24-3711

【会報編集 STAFF】

- 編集部長:遠藤 ゆり(45回)
- 副部長:小林 弦(41回)
- 部員:千葉 敏明(20回)
- ": 佐藤 忠徳(21回)
- ": 岡 和好(34回)
- ": 高橋 誠一(36回)
- ": 佐佐 忠行(38回)
- ": 遠藤 秀春(47回)
- 事務局長:小林恵美子

【印刷所】 ハック印刷 Tel. 0229-23-8900
〒989-6135 大崎市古川稲葉1-1-29

雑記89

宮澤 忠一(古工建友倶楽部館長・21回生)

月刊パークゴルフ新聞の記事より→「第18回全国パークゴルフ選手権大会[KAGOBO・CUP]が10月13日、14日の両日にかけて宮城県大崎市の加護坊パークゴルフ場で開催された。両日とも晴天にめぐまれ、最高の大会日和となった。強者が多く参加しているとあって、108ホール競技でも1打を争う展開となり、男子の部では宮澤忠一さんが総スコア292で見事に勝利を飾った。現在同大会2連覇中の門間仁さんは「わずか1打差で惜しくも3連覇を逃した。」と言う事で、全国大会初勝利。これまでは3位が最高でした。他にも、JA古川10月広報誌「夢 ぶる」の表紙に掲載されました。この様に2024年も昨年同様よい年になりました。PG日数270日・ホールインワン85。



2025年は六星占術による好運気の
【立花】よい年になります。

編集後記

2025年も本会報をよろしくお願ひいたします。

今年は巳年。脱皮する蛇のイメージから「復活、再生」を意味し、次の生命の誕生や植物の実が付きはじめるなどの新しいことが始まる年になると言われています。

また「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」とも言われています。これまで準備してきた事や努力の成果を試してみたいかがでしょうか?

本年も運を引き寄せ皆さまにとって実り多き1年となりますように。(3623 高橋)